

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和7年度 要望・回答

江ノ島電鉄

番号	要望事項	R7 要望内容	R7 回答
I 輸送力増強			
1 輸送計画の改善			
(1)	輸送力の増強	<p>日本政府観光局(JNTO)が発表している訪日外客数推計値を見ると、令和7年1月から5月の5カ月間の訪日外客数は、令和6年の同時期と比較して約350万人上回っており、これに比例して江ノ電の乗客数も増加しています。特に鎌倉駅や長谷駅、藤沢駅においては、車内の混雑は激しく、ホーム上や駅周辺には、利用者が滞留しており、市民生活に大きく影響を及ぼしています。</p> <p>つきましては、観光客が多く利用する日中など、混雑時の運行間隔の短縮等を含めたピーク時に対応できる輸送力の増強について、抜本的な見直しを要望いたします。</p>	<p>鎌倉駅、長谷駅については、観光名所も多く、また、藤沢駅はJR線や小田急線との乗り換え駅であることから、当社線におけるの混雑駅となっておりますが、これらの駅における車内混雑や利用者滞留解消を目的とした輸送力の増強については、現状では4両編成による14分間隔の列車運行が最大限であり、抜本的な見直しは難しい状況ではございますが、令和8年度に就役する新造車両では、座席配置を工夫して定員増を図っており、輸送力の増強に寄与すると考えております。</p> <p>なお、今後の主要駅改修の際には駅滞留スペース確保の検討を進めるよう努めますが、要望事項解決に向け、混雑が予想される時期におかれましては、電車の混雑予測に関するPR・情報発信等、引き続きご協力を宜しく願いいたします。</p>
(2)	運行本数の増便	<p>夏休み期間や紅葉シーズン等の混雑期及びゴールデンウィーク等を含めた超混雑期においては、利用客の安全確保や輸送力増強の観点から、沿線住民及び観光利用者等の利便性向上のため、運行本数の増便など検討していただくよう、要望いたします。</p>	<p>令和5年3月実施のダイヤ改正後は、混雑期における多客や道路渋滞を起因とする5分以上の遅延と運休の発生は大幅に解消され、定時性が確保されております。</p> <p>当社は単線という特性や、交換場の配置上、全線において6運行の運行が最大であることから、運行本数の増便は難しい状況です。</p>

番号	要望事項	R7 要望内容	R7 回答
II 利便性向上			
1 駅施設等の整備			
(1)	高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の改善等	<p>「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」に基づき、バリアフリー化について、整備を進めていただいているところですが、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」も踏まえ、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、引き続き、次の事項について、特段に配慮されるよう要望いたします。</p> <p>また、藤沢市においては、バリアフリー法に基づく基本構想を作成しているため、当該基本構想に基づく公共交通特定事業計画の作成及び移動等円滑化にかかる事業を推進し、整備にあたっては、高齢者・障害者など駅利用者や地域の関係団体の意見を聞きながら進めるよう要望いたします。</p> <p>①転落防止 ホームドアや可動式ホーム柵は、ホームからの転落や触車防止に有効な施設であると認識しているため、乗車客数の多い藤沢駅、観光シーズンになると車内のみならずホーム上では身動きがとれないほど大変混雑する鎌倉駅、長谷駅への早期設置をお願いいたします。なお、設置まで長期間かかる駅については、藤沢駅、湘南海岸公園駅、鎌倉駅へ設置していただいているCPラインの積極的な導入を要望いたします。</p> <p>また、令和元年度に、藤沢駅のホームのすき間解消、鎌倉駅のホームの段差及びすき間解消を行っていただいておりますが、他の駅のホームと車両との段差及びすき間の解消についても、引き続き取り組みをお願いいたします。</p>	<p>高齢者、障害者等の移動等の円滑化に配慮した駅施設の改善については、全駅においてスロープ・車椅子用昇降機・EV等により、平成28年10月にバリアフリー化が完了しております。</p> <p>今後も、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、法令や基本構想に基づき、高齢者・障害者など駅利用者や地域の関係団体の意見に配慮した駅施設等整備に努めてまいります。</p> <p>転落事故や触車を防止するうえで、ホームドアや可動式ホーム柵の有効性は高いものでありますが、弊社のプラットホームは狭小であり設置が困難なため、今後も必要に応じてCPラインの導入を検討してまいります。なお、混雑する長谷駅においては、令和6年度にCPライン整備を完了しております。</p> <p>駅ホームの段差及びすき間については、解消すべき課題とは認識しておりますが、ホーム等の抜本的改修が必要であり、相当の費用を要することから、今後の改修計画時には補助等のご協力を宜しくお願い致します。</p>

番号	要望事項	R7 要望内容	R7 回答
		<p>②バリアフリートイレ等 妊産婦・乳幼児連れの保護者等が安心して利用できるよう、子どもサイズの便器、手洗い器、ベビーベッド、授乳室等の施設整備を要望いたします。また、オストメイト対応設備については、平成30年に江ノ島駅へ温水シャワー付きを設置していただいておりますが、藤沢駅及び鎌倉駅についても、障害のある方にも利用しやすい駅とするため、温水シャワー水栓付き汚物流しのタイプに改良していただくとともに、車いすを使用するオストメイトにも利用可能な高さ調整機能の導入を要望いたします。 さらに、病気や疾患等でおむつや尿漏れパッドを利用される方も増えていることから、男性用トイレにもサンタリーボックスを設置していただくよう要望いたします。</p>	<p>主要駅にはバリアフリートイレを整備していますが、敷地の制約もあり全駅に設置出来ないのが現状です。 なお、令和8年度初頭に、江ノ島駅2番ホームにオストメイト対応トイレを増設し、既存の1番ホームのトイレと合わせ、同駅ではホーム毎の設置を完了いたします。 また、他のバリアフリートイレ既設駅につきましては、今後の改修時に設置設備の充実を図ってまいります。</p>
		<p>③案内表示 平成31年より、全駅に運行情報システムを新設し、表示と音声の両面で案内を開始、また、藤沢駅、鶴沼駅、江ノ島駅及び鎌倉駅には、触知案内図を設置していただいておりますが、音響音声案内装置等の設置、自動券売機の点字シールによる表示、聴覚障害者が視覚的に情報を得ることができる電光掲示板の設置等施設改善を引き続き要望いたします。 加えて、AED設置場所について、インターネットで検索できるよう、一般財団法人日本救急医療財団ホームページの全国AEDマップにおいて設置情報を公開することを要望いたします。</p>	<p>音響音声案内装置等の設置、自動券売機の点字シールによる表示、電光掲示板の設置等につきましては、今後の駅改修や機器更新にあわせて実施を検討いたします。 一般財団法人日本救急医療財団ホームページの全国AEDマップにおける設置情報の公開については、令和7年度初頭のAED全駅運用開始にあわせて、既に公開を済ませております。</p>
		<p>④人員対応 高齢者、障害者等が利用しやすいよう、ラッシュ時などにおいては、改札・精算窓口の駅職員を増員するなど必要な駅員配置を行うとともに、令和4年7月に国が策定した「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドライン」に沿った対応について、ご検討いただきますようお願いいたします。また、利用者への声かけなどの心のバリアフリーの啓発を引き続き要望いたします。</p>	<p>心のバリアフリー啓発については、「声かけ・サポート運動」強化キャンペーン等を実施し、交通弱者の方々や鉄道係員のみならず、一般の方々より支援いただけるように、ポスター掲出や駅・車内での放送等、積極的な啓発活動を推進しております。 今後についても適時啓発活動を継続するとともに、「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドライン」に沿った対応を検討してまいります。</p>

番号	要望事項	R7 要望内容	R7 回答
(2)	鎌倉駅構内の整備	<p>鎌倉駅については、ゴールデンウィークやアジサイの開花時期といった観光シーズンになりますと、車内のみならずホーム上では身動きがとれないほど大変混雑し、容易に乗降等ができない状況です。</p> <p>つきましては、多数の観光客が利用する鎌倉駅については、駅構外まで乗車待ち列が生じないよう、駅構内での安全確保と利用客の円滑な誘導等を図るとともに、ソフト対策に加え、ホームの拡張等を含めた駅構内の整備によるハード対策を検討していただくよう要望いたします。</p>	<p>鎌倉駅については、混雑が予想される時期において、駅係員や警備員の適切な配置等のソフト対策を実施しております。</p> <p>また、ホーム拡張等のハード対策については、自社用地内での抜本的な改善が難しく、また、JR東日本との接続駅であることから、鎌倉市で策定された「鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画」を積極的に推進していただき、当社としても参画してまいります。</p>
(3)	腰越駅及び七里ヶ浜駅の車いす用のリフトの運用時間	<p>腰越駅及び七里ヶ浜駅の車いす用のリフトの運用時間については、駅員の配置時間に限られており、通勤・通学の方には不便であるとの声が届いています。</p> <p>つきましては、駅員の配置時間に関わらず利用できるよう運用時間の拡大など現状の改善もしくは、無人でも利用できるようなスロープの新設などの検討を要望いたします。</p>	<p>駅員の配置時間拡大については、業務時間外の要員確保が難しい状況ですが、事前連絡や駅インターホンでの連絡により駅係員が可能な範囲で対応しております。</p> <p>また、両駅のスロープ設置可否について調査、検討を進めたところ、七里ヶ浜駅の隣地が鎌倉市の土地であることを確認いたしました。今後のスロープ新設を検討するにあたり、用地提供等のご協力を宜しくお願い致します。</p>
(4)	視覚障害者に対する簡易改札機の利便性の向上	<p>鎌倉市身体障害者福祉協会から、視覚障害者が簡易改札機を利用する際、ICカードをタッチする位置が分からず、利用が難しいという意見が出ています。</p> <p>視覚障害者が利用しやすい簡易改札となるよう、改札機への視覚障害者用誘導ブロックの整備並びにICカードをタッチする位置への音声誘導案内や点字表示の整備を要望いたします。</p>	<p>ご要望については、解消すべき課題とは認識しておりますが、駅務機器の改修等は相当の費用を要することから、早期に対応することが難しい状況であるため、今後の更新に合わせて検討いたします。</p>

番号	要望事項	R7 要望内容	R7 回答
(5)	鎌倉駅等への大型コインロッカーの増設及び大型スーツケースの料金賦課	<p>日本政府観光局(JNTO)が発表している訪日外客数推計値を見ると、令和7年1月から5月の5カ月間の訪日外客数は、令和6年の同時期と比較して約350万人上回っており、これに比例して江ノ電の乗客数も増加しています。</p> <p>国においても手ぶら観光を推奨しており、外国人観光客は大きな手荷物を持って移動することが多く、乗客の乗車スペースを占用し、乗り切れない事象が生じていることから、既に多くのコインロッカーを設置していただいているところですが、観光客からの設置要望が多い大型コインロッカーについて、駅始終点である鎌倉駅及び藤沢駅などに増設していただくとともに、大型スーツケースを車両に持ち込む際に料金を賦課するなど、輸送力の増強となる施策を講じていただくよう要望いたします。</p>	<p>鎌倉駅の既存のコインロッカーは、中型・大型を中心に設置しており、増設については駅構内にスペースが無く難しい状況です。</p> <p>藤沢市、鎌倉市におかれましては、大型荷物の一時預かりや配送による手ぶら観光の取り組みが試行されており、今後も積極的なPR等により取り組みを推進され、本格稼働が実現すれば列車内のスーツケース持ち込みの抑制につながると考えておりますので、更なるご協力をお願い致します。</p> <p>大型スーツケースを車両に持ち込む際の料金賦課については、検討を継続してまいります。</p>
(6)	鎌倉駅西口改札機の改良	<p>鎌倉駅西口改札には、現在5機の自動改札機が設置されていますが、うち3台は退場専用、残る2台が入出場可能なものとなっています。ゴールデンウィーク等の超混雑期における江ノ電鎌倉駅構内への入場規制時については、JR連絡改札口からの入出場も規制されることから、江ノ電からJRへ乗り換える利用者は一度駅構内から退場しなければならず、利用客が集中することから退場に時間を要しています。</p> <p>こうしたことに起因して、駅構外の歩道に乗車待ちの列が発生し、沿道の商店や歩行者の円滑な通行に支障をきたしていることから、駅構内外の混雑改善に向け5機ある自動改札機を入退場できるものに改良していただくとともに、入場規制時にはJR連絡改札口を出口専用として取り扱うなど、柔軟な対応をしていただくよう要望いたします。</p>	<p>自動改札機の改良については、5機各々を入退場可能とした場合、出場する利用客と退場する利用客が相対することとなり、動線の混乱が想定されますので、利用状況を鑑みたうえで実施可否を判断いたします。</p> <p>JR線への連絡口を出口専用とした場合、駅の構造上により駅外へ退出できませんので、JRとの協議が必要となります。</p>

番号	要望事項	R7 要望内容	R7 回答
(7)	鎌倉高校前駅における駅構内トイレの維持	鎌倉高校前駅の構内トイレについては、施設の老朽化等の理由により令和7年4月から閉鎖され、8月下旬に再開いただいたところですが、閉鎖期間は利用者に不便をきたしました。鎌倉高校前駅は、鎌倉高校前1号踏切を目的に多くの観光客が利用されることから、周辺の住環境への影響を鑑み、駅構内トイレが再び閉鎖されることのないよう、対策に取り組まれるよう要望いたします。	鎌倉高校前駅の構内トイレは、列車利用者を対象として設置しているものであり、公衆トイレの位置づけではありませんが、周辺への影響を鑑みて修理の上、使用を再開しております。 鎌倉高校前1号踏切道を含み、駅周辺に公衆トイレが設置されていないことも、周辺の住環境に影響が出た要因と考えております。 鎌倉市におかれましては、撮影スポットの新設や警備員の配置等の取り組みをされており、当社もオーバーツーリズム問題の解決に向け、できる限りの協力をしてまいりますので、更なる取り組みを宜しくお願い致します。
(8)	沿線住民の乗車環境の改善と利便性向上	インバウンド等による観光客の急激な増加に伴い、日常的に混雑が発生していることから、沿線住民には鉄道利用時に大きな負担を強いています。 つきましては、沿線住民の乗車環境の改善及び利便性向上のため、鉄道利用者需要の平準化や沿線住民の優先乗車等、新たな制度の導入を要望いたします。	ゴールデンウィークにおいて、沿線住民の鎌倉駅で優先入場の社会実験を鎌倉市が行っており、当社も協力しております。 また、当社としても、鉄道利用者需要の平準化のため、分散観光の推進を継続して取り組んでおります。 優先乗車に関しましては、需要の調査等、精査が必要となりますが、当社は公共交通機関という性質上、皆様に平等な利用機会を設けることが求められており、実現に向けては関係機関へのご助言も宜しくお願い致します。

番号	要望事項	R7 要望内容	R7 回答
Ⅲ その他			
(1)	自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進	<p>自転車等駐車場の設置については、駅周辺については用地の確保を含め、公共空間を活用した路上駐輪施設の設置を進めるなど各自治体において鋭意努力していますが、駅周辺には適地が少なく苦慮しています。</p> <p>特に腰越駅においては駅周辺町内会と放置自転車対策についての注意喚起チラシ等を回覧する取り組みなどを行っておりますが、依然として放置自転車が後を絶たず抜本的な改善に繋がっていません。</p> <p>つきましては、自転車等駐車場の設置に対する鉄道事業者の協力義務を規定した「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律(自転車法)」の趣旨にのっとり、自転車やバイクの利用者の大部分が通勤・通学者であることから、用地の提供及び確保、施設の設置や維持に対して助成を行うなど、鎌倉市及び藤沢市が行う放置自転車対策に対して、積極的に連携及び協力いただくことについて要望いたします。</p> <p>なお、藤沢市では、藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画に基づく事業と連携した駐輪場施設整備の検討を行っています。また、鵜沼駅及び湘南海岸公園駅については、藤沢市が民間から土地を借用し、稲村ヶ崎駅及び極楽寺駅については鎌倉市が貴社から土地を借用して自転車等駐車場の管理運営を行っているところですが、放置自転車が災害時や緊急時の大きな障害をきたすことから、引き続き自転車等駐車場の管理運営・用地の提供等の協力について、ご検討をお願いいたします。</p>	<p>自転車等駐車場の設置については、駅周辺における当社用地が少ないため、藤沢駅～石上駅・稲村ヶ崎駅・極楽寺駅での用地提供にとどまっておりますが、「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律」の趣旨に則り、今後も可能な限り協力できるよう検討をしております。</p>